

技術系職員のためのコミュニケーションセミナー（オンサイト）

～やさしい日本語&異文化理解編③～ 報告書

【開催日時】 令和7年2月19日（水） 13:30～17:00

【開催場所】 大阪大学箕面キャンパス 734 マルチメディア教室

【講師】 松岡里奈（大阪大学日本語日本文化教育センター 特任講師）

【参加対象者】 大学の技術職員、技術支援員（パート、派遣等含む）

【参加者】 5名

【主催】 大学連携研究設備ネットワーク

【共催】 マテリアル先端リサーチインフラ

【企画】 技術英語研修 WG

【目的】 大学や研究機関のグローバル化に伴い、技術職員が留学生や海外研究者の対応を行なう機会が増している。本研修では、英語だけではなく日本語を活用することで、技術系職員と外国人研究者・留学生とのコミュニケーションを円滑にし、より良い関係を構築するためのスキルを学ぶ。

【プログラム】

13:30～13:35 講師紹介

13:35～14:35 「技術系職員のための話し言葉のやさしい日本語 実践練習」

14:35～15:35 「技術系職員のための異文化理解 実践練習」

15:35～17:00 「技術系職員のための書き言葉のやさしい日本語 実践練習」

【報告】

令和7年2月19日に「技術系職員のためのコミュニケーションセミナー（オンサイト）～やさしい日本語&異文化理解編③～」を開催しました。本研修は、技術職員と留学生・外国人研究者とのコミュニケーションをより円滑化するために、技術職員の英語能力を上げる以外の手段として、調整を加えた日本語を介したコミュニケーションの習得を目指したものです。また、コミュニケーションにおけるすれ違いの原因ともなりうる異文化への気づきを得ることで、お互いを尊重し合える環境を醸成することを目指した“異文化理解”についても学ぶことができる内容としました。今回は、11月と12月に実施した研修に引き続き、実践練習に焦点を当てました。まず始めに、複言語主義とやさしい日本語について復習した後、実験中の学生に安全についての指摘を行う場面を想定して話し言葉のやさしい日本語実践練習を行いました。続いて、異文化への態度を醸成する課題に取り組み、学生や研究者とのすれ違いの際に相手の気持ちを冷静に解釈する実践練習を行いました。最後に、書き言葉のやさしい日本語実践練習として、普段の業務で使用しているポスターや文書の書き換

えに挑戦しました。参加者は、専門用語の多い実験装置のマニュアルや実験室の注意書きに苦戦しながらも、受講者同士で協力し合いながらポスターを完成を目指しました。

今回の研修は、少人数かつ対面で開催できたことにより疑問が即座に解消でき、実務に直結するシチュエーションでの実践練習を多数行えました。参加者は、業務ですぐに活用できるスキルを身につけることができたように感じます。これからも、英語および日本語活用し、全国の技術系職員の国際化促進を後押しできるような研修を計画して参ります。来年度の研修も楽しみお待ちしております。

【アンケート結果】

研修の満足度

研修の満足度

5件の回答



研修の良かった点をご記入ください

- ・ 対面でできたことがとても良かったです。オンラインに比べて、質問しやすかったり、説明がわかりやすかったりして、限られた時間により多くの学びを得ることができました。書き言葉の掲示物作りも、いろいろとアドバイスいただけて良かったです。
- ・ 話し言葉のロールプレイ練習や、書き言葉の掲示物作成の際に、松岡先生からの助言がこまめに頻繁にいただけてとても良い勉強になりました。また、異文化理解のD.I.E法を実際にやれてとても良かったです。今まで留学生の言動で困惑したとき、「自分が我慢すればいい」という発想になっていましたが、今後はD.I.E法を使って、留学生にとっての解釈と評価をしっかりと理解したいと思います。
- ・ オンラインでは、途中で呼ばれる事があるので、講義が途切れ途切れになることがありました。オンサイトは研修に集中できるので、理解が進むと感じました。オンラインでのコミュニケーションは苦手なので、対面の方が会話しやすかった点が良かったと思います。
- ・ 少人数で実習をしながら疑問点をすぐに確認できた点が良かったです
- ・ 説明がとても明快で分かりやすかったです。また、実際の状況をもとにした体験方式が

素晴らしかったと思います。その後、他の大学の技術職員の方々とお話できたことも得難い体験でした。

今回の研修はご自身の業務にどのように役立ちそうですか？

- ・ どの内容も役立ちそうですが、特に書き言葉のほうは、すぐに使える内容でした。異文化理解についても、心構えとして非常に役立つと思います。
- ・ 作成途中の掲示物は必ず完成させて掲示します。また、D.I.E 法を積極的に活用して、留学生と良いコミュニケーションができるように頑張ります。
- ・ 留学生対応だけでなく、異文化である他学部や異分野の研究者との円滑なコミュニケーションをとっていく為の考え方のヒントを得ることが出来たと思います。
- ・ 留学生が参加する授業の際に役立てたいと思っています。分かりやすく伝えるための言葉の選択について大変参考になりました。
- ・ 部門を利用する外国人留学生とのコミュニケーションに直接つながると思います。また、私はあまり話すのが得意ではないので、やさしい日本語を意識することで日本人との日常コミュニケーションの改善にもつながるのではないかと考えております。

今回の研修の感想・改善点や、今後の技術系職員のためのコミュニケーション研修に期待することなど、自由にご記入ください。

- ・ 開催ありがとうございました。異文化理解だけを取り上げて、もっと掘り下げた研修があったらいいと思います。
- ・ 来年度も継続して研修が続くことを期待しています。研修以外の期間も Slack 等でグループ自習ができたらいいなあ…と思います。「やさしい日本語」が技術職員に浸透したら、Slack に練習用チャンネルを作りたいです。
- ・ 英会話の呪いに取りつかれ、本来の目的であるコミュニケーションを取るという事を忘れてしまっていたことに気づきました。気づきをくださってありがとうございました。
- ・ いつもいろいろな研修を企画していただきありがとうございます。電子顕微鏡担当者とのコラボを楽しみにしています！
- ・ 説明が明快かつ論理的で分かりやすく良かったです。単純に話し方だけでなく、相手の状況や立場を慮って話し方を組み立てるという考え方は相互理解全般に重要であることを考えさせられました。松岡先生の話し方もやさしい日本語の理論に則った聞き取りやすい発声と理解しやすい会話の組み立てで、やさしい日本語をマスターすれば普段の会話でも役に立つのだろうと実感できる講義でした。また、実際の状況を想定して話してみるという体験方式が良かったですね。頭で理論を知っていても実際にやってみるとなかなか言葉が出ず、場数を踏む重要性を実感できました。個人的には実際に現地に集まって講習をおこなうのであれば体験方式をもっと重点的におこなった

ほうが現地集合のメリットを活かせるのではないかと思います。時間配分の都合もあるかと思いますので難しいかもしれませんがご一考いただければと思います。

